

危険物新聞

第 4 8 6 号

発行所 財団法人 大阪府危険物安全協会

編 集 松 村 光 推
発行人

大阪市西区新町1丁目5-7

四つ橋ビル

TEL (531) 9 7 1 7・5 9 1 0

定価 1部 60円

第 1 回 危険物取扱者試験

6月11日・18日、府大で

財消防試験研究センター大阪府支部では、平成7年度第1回危険物取扱者試験を6月11日・18日に、大阪府立大学で次のとおり実施する予定である。

第 1 回 危険物取扱者試験

試 験 日	・ 6月11日 乙種4類 (午前・午後)
	・ 6月18日 甲種・4類以外の乙種 (午後) 丙種 (午前・午後)
試 験 海 上	大阪府立大学 (堺市)
願 書 受 付 日	5月18日、19日
願 書 受 付 場 所	大阪府職員会館

予備講習会は

甲種、乙種4類、丙種について

予備講習会は、甲種、乙種4類、丙種について、大阪、泉、泉大津、茨木、門真など府下11会場で別掲(8頁参照)のとおり、実施する。

なお、日曜コースについては、講習日数も前年度の2日間から3日間に延長し、最終日に、もぎテストも行なうこととなった

〈甲種受験資格緩和〉

「危険物の規制に関する規則の一部を改正する省令」(平成6年11月28日付自治省令第43号)に基づき、平成7年4月1日より、甲種の受験資格が一部緩和された。

緩和後の甲種の受験資格は次のとおりであるが、特に②の内容が改正のポイントである。

- ① 大学、短大及び高専の化学に関する学科又は課程を修めて卒業した者。
- ② 大学、短大及び高専で、学部、学科名は問わず、また卒業等にかかわらず、化学の授業科目を15単位以上取得した者。
- ③ 乙種免状を修得後、2年以上危険物取扱の実務経験を有する者。

H7年度 安全運動標語決定

「確実な 攻守がきめての 危険物」

今年も、6月4日(日)から10日(土)までの1週間、全国で危険物安全運動が一斉に行われる。

消防庁、全危協等では、その推進標語の募集を行っていたが、この度、最優秀作品として北海道旭川市の白井亨さんの作品「確実な 攻守がきめての 危険物」が選ばれた。

今回の標語募集には、全国から9,091通の応募があり、審査委員会で審査の結果、次の入賞作品が選ばれたものである。

☆最優秀作 (消防庁長官賞・北海道 白井 亨)

「確実な 攻守がきめての 危険物」

☆優秀作(全国危険物安全協会理事長賞・山口県 本坊 タミ子)

「危険物 守る基本に護られる」

☆優良作 (記念品) 10点

空調設備機器製造・販売

オイルタンク用液面計
遠隔式警報ユニット液面計
各種液体タンク用液面計
フロートスイッチ・微圧スイッチ
タンク部品一式

独自の技術により、正確・安全
ローコストを追求する

GIKEN

TEL 06(358)9467(代表)

株式会社技研

〒530 大阪市北区天満4丁目11番8号 工技研ビル ☎358-9467~8

平成7年度 保安講習 6月下旬より府下62会場で

危険物取扱者講習は消防法第13条の23で定められた義務講習である。

危険物製造所等(危険物施設)で危険物の取り扱いに従事する危険物取扱者(保安監督者も当然、従事しているものと見なされる)は、定められた期間内にこの講習を受講しなければならない。

また、上記以外の危険物取扱者でも受講することができ、他府県で交付された免状所持者も、大阪府下の会場で受講することができる。

受講期限は、原則として資格を取得した日、または保安講習を受講した日から3年以内に受講しなければならない。受講義務者か期限内に受講しないときは、免状の返納が命ぜられることがある。

案内書、申込書等は5月中旬頃配布の予定

平成7年度の実施計画については、現在作成中であるが、6月～9月分は右記の予定で案内書や申込書の諸様式は、5月中旬～下旬にかけて府下各消防本部で配布の予定。

なお、10月～8年2月にかけては府下28会場で実施の予定。

業種区分別の受講を

講習会は①化学工場関係、②石油コンビナート関係、③給油取扱所関係、④タンクローリー関係、⑤その他一般関係の5部門に分けて開催するので、原則として業種区分別の講習を受講されたい。

保安講習日程表(予定)

6月下旬～9月下旬

◇化学工場関係(2会場)

回数	開催日時(予定)	会場
9	7月12日 水 午後	大阪府商工会館 大阪市
13	7月17日 月 午前	大阪府商工会館 大阪市

◇給油取扱所関係(6会場)

回数	開催日時(予定)	会場
5	7月7日 金 午後	*岸和田競輪場 岸和田市
10	7月13日 木 午後	大阪府商工会館 大阪市
14	7月17日 月 午後	大阪府商工会館 大阪市
15	7月18日 火 午前	大阪府商工会館 大阪市
18	7月21日 金 午後	大阪府商工会館 大阪市
19	7月24日 月 午後	*堺市民会館 堺市

◇タンクローリー関係(2会場)

回数	開催日時(予定)	会場
22	9月9日 土 午後	大阪府トラック総合会館 大阪市
24	9月14日 木 午後	大阪府トラック総合会館 大阪市

◇その他・一般(15会場)

回数	開催日時(予定)	会場
2	6月26日 月 午後	大阪府商工会館 大阪市
3	6月27日 火 午後	大阪府商工会館 大阪市
4	6月29日 木 午後	吹田メシアター 吹田市
6	7月10日 月 午後	大阪府商工会館 大阪市
7	7月11日 火 午後	大阪府商工会館 大阪市
8	7月12日 水 午前	大阪府商工会館 大阪市
11	7月14日 金 午前	*堺市民会館 堺市
12	7月14日 金 午後	*堺市民会館 堺市
16	7月18日 火 午後	大阪府商工会館 大阪市
17	7月19日 水 午後	大阪府商工会館 大阪市
20	7月26日 水 午後	泉大津市民会館 泉大津市
21	7月28日 金 午後	貝塚福祉会館 貝塚市
23	9月13日 水 午後	豊中市民会館 豊中市
27	9月22日 金 午後	和泉解放総合センター 和泉市
28	9月25日 月 午後	柏羽藤消防本部 藤井寺市

(注)1.講習時間は3時間です。

(開講時間は講習会場によって若干異なります。)

2.会場欄中*印の会場は駐車可。

(ただし、堺市民会館は有料)

10月期～8年2月期の予定

- ・大阪市内 13会場
(うち、化学工場関係 1会場)
コンビナート関係 2会場
給油取扱関係 1会場)
- ・茨木 3会場
(うち、給油取扱所関係 1会場)
- ・堺 3会場
(うち、タンクローリー関係 2会場)
- ・高槻、枚方 各2会場
- ・吹田、門真、大東、東大阪、八尾 各1会場

堺・高石に七番目の中署開設

堺・高石消防本部では、堺市の支所行政に対応して中支所区域を管轄区域とする中消防署が堺市深井沢町6-6に4月1日付で開設し業務を開始した。

同本部管内では、7番目の消防署となる。

危険物施設の事故例

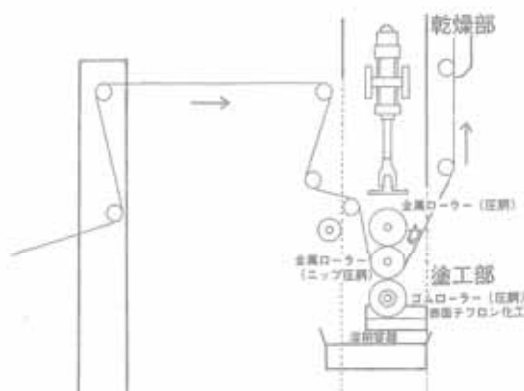
用紙加工中、静電気により溶剤に引火

福岡県内の一般取扱所において、印刷用紙を加工中、用紙に帯電した静電気の火花によりコーティング用樹脂溶剤に引火し、火災となる事故が発生した。

事故の概要

印刷用紙は、6工程の加工で製品化されている。第1及び第2工程では、芯となる原紙(ポリエステルフィルム)の両面に和紙をはりつける。第3及び第4工程では、用紙コーティングのため両面に樹脂溶剤(危険物(酢酸エチル等))を塗布する。第5及び第6工程では、両面に静電気防止剤を塗布する。

火災が発生したのはコーティングのため用紙の片側に樹脂溶剤が塗布する第3工程でであり、溶剤を塗布するためのゴム製のローラーより10cm程上方で火花が発生し、用紙に塗布された樹脂溶剤が引火し用紙が燃え、樹脂溶剤の容器に延焼拡大した。



印刷用紙加工機の概略図

事故の原因

印刷用紙は、絶縁性のフィルムを中間に両面を和紙でサンドウィッチ状にし、コーティングのため樹脂用材を塗布したものである。印刷用紙は、加工中、幾つかの金属ローラー及びゴムローラーと高速で接触、摩擦を起こして帯電しているため、用紙をコーティングする工程において、ゴムローラーと金属ローラーを通過したとき火花が発生し、コーティングのため用紙に塗布された樹脂用材が引火したものと推定される。

問題点及び対策

電気の導体でない印刷用紙とゴムローラーの長時間にわたる摩擦では、静電気が発生することは避けられないこと

から、当該設備に静電気除去装置を設置するとともに、作業員は帯電防止服を着用し、再発防止を図ることとされた。(財全国危険物安全協会 提供)

油種確認不十分により

ガソリン、軽油誤注油

東京都内のガソリンスタンドにおいて、タンクローリーから地下専用タンクへ荷卸中、油種を誤って注入したため、ガソリンと軽油の混合物約32ℓがでけ、タンクローリー3台で抜き取る騒ぎとなった。

事故の概要

B運送会社の社員C(移動タンク貯蔵所の運転手)は、給油取扱所地下専用タンクへ移動タンク貯蔵所後部の吐出口からガソリンと軽油を同時に荷おろしした際、ガソリンと軽油の注入口を間違えて逆に接続したため、地下タンク内にガソリンと軽油の混合危険物が約32ℓ貯蔵された状態となった。

荷おろし後の処理

混合危険物を荷おろしした後、B運送会社の移動タンク貯蔵所3台を使用して、地下専用タンク内の混合危険物を吸引して取り除いた。(この場合、危険物の「仮取扱」という法的手続が必要です)

問題点及び対策

問題点としては次の2点があげられる。

(1給油取扱所の危険物保安監督者Dは、移動タンク貯蔵所の荷おろしに際し、①注入口へ移動タンクを誘導し、②注入口ピットを開放した後、③Cが注入口を開放するのを確認して、他の業務に戻ったことから、③以降の荷下ろしは、C1人で行っていたこと。

(2)Cは荷おろし途中で軽油とガソリンの混合に気付いたものの、注入ホースを接続し直し荷おろしを続け、更に、この事実を給油取扱所の危険物保安監督者等に知らせなかったこと。

また、今後の対策としては、以下の事項を考えられる。給油取扱所の危険物保安監督者は、取扱所内で行われる危険物の取扱作業に関して「保安の監督を行わなければならない」とされ、更に保安の監督に際しては、「誠実にその職務を行わなければならない。」とされている。

危険物の荷おろしは、当然「危険物の取扱い」に該当し、過去に発生して荷おろしに起因する火災や危険物の漏洩事故が「荷おろしの危険性」を証明しているといえる。

とかく「荷おろし」が危険物の取扱いであるという認識を忘れ、同一作業の反復から習慣的になって注意心を欠いたり、移動タンク貯蔵所の危険物取扱者にまかせきりにしないよう誠実にその職務を行う必要がある。

(財全国危険物安全協会 提供)

我が社の保安対策

全員参加の日常管理で

災害の未然防止

〈大阪市〉 日本ペイント(株)大阪事業所

当社は、日本の塗料工業の草分けとして今から114年前の明治14年(1881年)に創業しました。その間、常に塗料業界の先駆者として、「社業を通じて社会公共の福祉に貢献する。」の社是のもと、社会の発展とともに成長してきました。当大阪工場は、明治38年に大阪市北区の現在地で操業を開始し、以後一世紀近く塗料全般の生産を行っています。近年は合成樹脂塗料が主流であるために、原材料として多品種の危険物(主に第4類)を使用していることと併せて、大都市に立地していることなどの関係上、日常の保安・防災管理が非常に重要になっています。会社の安全理念5項目のひとつに、「安全なくして会社の繁栄なく、会社の繁栄なくして社員の幸せなし。」を明記して、保安・防災管理を全社の最重点方針のひとつとして位置付けています。当工場が今日まで大事故・災害も無く永年にわたり操業を続けられたことは、前記の最重点方針と併せ、防災対策の充実、社員への防災教育の徹底による防災意識の高揚、並びに全員参加による防災活動の成果によるものです。以下に、当工場の保安・防災管理の一端を紹介します。

(1) 防火・防災活動の推進

①危険物施設の点検：工場内になるすべての危険物施設の点検を年2回(地下タンクは年4回)行うとともに、週末点検、始業時点検、終業時点検を励行している。

②消防用設備の維持管理：自動火災報知設備、消火ポンプ設備、非常用放送設備は、年2回の機能点検を行っている。特に消火器具は職場初期防火活動の重要性から、職場責任者による月1回の機能点検を行い、不備の場合は即座に交換を行っている。

(2) 自然災害による被害の最小限化活動

①冬期凍結対策：毎年12月1日～3月14日までの間を冬期凍結期間と定め、消火ポンプ、消火栓、配管等のドレインを抜き、消防用設備の破損事故防止対策を行っている。また、各職場での迅速な対応を図るために、保安担当はこの時期、毎夕刻に、翌日の予想最低気温情報を把握し、各職場に伝達し、適切な指示を行っている。

②危険物の夏期対策：毎年7年1日～9月30日までの猛暑の間を夏期危険物対策強化活動期間と定め、日常での危険物の保管管理を徹底はもとより、週末や休日前の職場のパトロールを強化し、猛暑による自然発火防止や災害の未然防止を図っている。

③大雨・台風対策：台風シーズンは、いち早く的確な情報を得るために保安担当が天気図を作成し、必要な情報と対策を職場に伝達・指示するとともに対策の実施状況の確認

を行い、被害を最小限に押さえるよう努めている。

④地震対策：以前より、ハード面では建屋構造物の補強、転倒・落下・倒壊・飛散防止、危険物等の漏洩防止、防災設備危機・資材の充実、救護資材の充実、情報設備の充実等を、ソフト面では災害対策等の規定類制定、地震対応訓練等を行ってきた。この度の阪神大震災による被害は軽微であったが、反省と貴重な教訓が得られた。その一例として、今後、迅速で確かな初期活動ができるよう、現在、近距離通勤者ごとの緊急時に通勤経路・手段・方法等を調査中である。今後の地震対策に役立てたいと思っている。

(3) 防災訓練・教育

①法定消防訓練：全国火災予防週間行事の一環として、工場全体の消防訓練を所轄消防署と合同で、春と秋の年2回行っている。(写真参照)



職場初期消防訓練(炭酸ガス消火器によるドラム内火災の消火)

②職場初期消火訓練：初期消火の重要性と消火技能の向上を目指すため、各職場毎に年2回行っている。

③新入社員への防災教育：新入社員教育の一環として、座学の危険物教育はもちろん、小型ABC消火器を使用した実火・消火訓練を全員に実施している。

④危険物資格保有者：一部の事務系を除き、毎年新入社員はこの資格取得を必須としており、現時点で、当工場では新入社員を含めた該当者100%が取得している。

(4) 防災対策・活動の評価

年1回、安全環境担当役員による安全監査の評価項目の中に、防災対策と管理活動の実施状況について、資料と消防訓練が組み入れられている。

危険物の取り扱いを誤れば大災害につながり、また、今回のような大震災が発生すれば一番危険に遭遇するのは化学工場です。有事を想定して、設備の補強・点検、防災設備・機材の充実を図り、また繰り返しの実技訓練による技能向上と迅速な対応等によって、被害を最小限に食い止めることが我々の責務です。具体的な実施に当たっては、安全環境年間計画を期初に立案し、H E (ヒューマン・エラー)の根絶、職場環境の設備、産業廃棄物の減量化と適正処理、危険有害物資管理の強化等々、地道に活動を継続して実施し、全員が一丸となって、防災管理活動のスパイラル・アップを目指しています。「安全管理の基本は、災害の未然防止と予防管理である」に尽きると思います。

消防関係人事異動

4 月の大阪府下各消防本部における主な人事異動は次のとおり。

大阪市消防局

■ 部長級(正監)

▷予防部長 岡本雅夫(副理事)▷副理事 光嶋孝夫(司令課長)▷人事厚生課長 井上由紀夫(青少年対策課長)▷司令課長 河村武(西成署長)▷北署長 川本満良(浪速署長)▷浪速署長 橋多加男(救急救助課長)▷淀川署長 森幹雄(生野署長)▷西成署長 阪口康夫(計画課長)▷副理事・振興協会 森田武(北署長)▷市長部局へ 井出保夫(人事厚生課長)

■ 課長級(監)

▷企画主幹 塩野治弘(計画課長代理)▷企画主幹 堤原洋(阿倍野副署長)▷危険物課長 三輪剛弘(市安全対策課長)▷計画課長 本城光一(危険物課長)▷警備主幹 中澤隆司(西副署長)▷救急救助課長 大谷融(天王寺署長)▷企画主幹 高垣新平(西成副署長)▷機械課長 山崎雅裕(監査事務局主幹)▷此花署長 石田匡(振興協会)▷港署長 坂口博文(福島副署長)▷大正署長 植田晃(天王寺副署長)▷天王寺署長 西畑幸夫(此花署長)▷生野署長 五味淳(大正署長)▷住吉署長 高木恭昭(城東副署長)▷東住吉署長 山内康正(企画主幹)▷平野署長 松浦力(企画主幹)▷水上署長 田中克之(浪速副署長)▷参事・振興協会 十河義博(港副署長)▷参事・振興協会 山本親義(生野副署長)

堺市高石市消防本部

■ 消防長 瀬川季雄(消防次長)

■ 部長級

▷総務部長 伯井一雄(総務部次長)▷警備部長 西本忠(堺署長)▷警備部理事 村主高▷予防部理事 植田房義(予防部次長)

■ 次長級

▷総務部次長 井上寿一(人事課長)▷堺署長 伊熊正信

(金岡署長)

■ 課署長級

▷人事課長 平田慶弘(指導査察課長)▷指導査察課長 西林利成(参事)▷鳳署長 森本征男(堺副署長)▷中署長 仮口正和(参事)

吹田市消防本部

■ ▷消防長 山崎学(本部次長)

■ 次長級

▷本部次長・南署長事務取扱 奥谷有▷本部次長・小野辰雄(総括参事)

■ 課長級

▷警備課長 荒谷利男(警備課長代理)▷救急救助課長 井上奉身(北署副署長)▷北署長 尾崎昭雄(南署長)▷東署長 加登孝三郎(救急救助課長)

東大阪市消防局

■ 消防局長 大南裕清(教育委員会次長)

岸和田市消防本部

■ ▷消防長 新屋朝夫(市長公室長)

大東市消防本部

■ ▷消防長 安川博美(大東市署長)

貝塚市消防本部

■ ▷消防長 高浦弘志(水道局長)

池田市消防本部

■ ▷消防長 乃一大八(池田市署長)

和泉市消防本部

■ ▷消防長 一ノ瀬喜廣(理事)

阪南市消防本部

■ ▷消防長 畑中興四郎(市長公室長)

〔府下消防長 退職〕

▷谷義夫(堺・高石)▷小林寿夫(吹田)▷久高幸一郎(岸和田市長部局へ)▷高宮武男(和泉)▷中野光夫(大東)▷奥孝治(池田)▷西村弘一(貝塚)▷梶本剛(阪南)▷甲田博貞(東大阪水道企業管理者へ)

H&H

HATSUTA

株式会社 初田製作所

大阪本社 〒573 大阪市東淀川区西中島3-5 TEL: 072036-1291
東京支社 〒112 東京都足立区大塚7-6-1 TEL: 033324-8841


頑固な夢が
そこに
ある。

原動力はロマンチックな瞬間。

ハツタはあらゆるセーフティニーズに
おこたえする企業をめざします

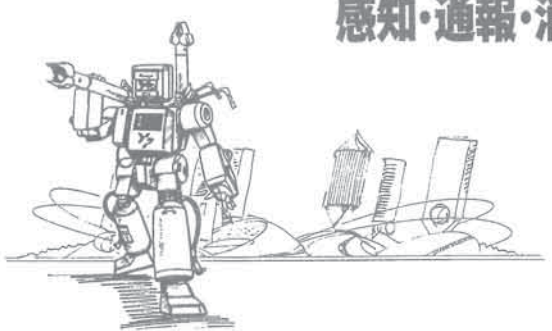
平成7年度 危険物取扱者保安講習・予備講習 年間予定表 (5月~9月)

	保安講習	予備講習	試験日・願書受付
5月		甲種 大阪 (1会場) 乙4 大阪 (3会場) 堺 (1会場) 泉大津 (1会場) 茨木 (1会場) 門真 (1会場) 土曜・大阪 (1会場) 日曜・大阪 (1会場) 丙 大阪 (1会場)	5月18日 5月19日 (願書受付)
6月	大阪 (2会場) 吹田 (1会場)		6月11日 (乙4) 6月18日 (乙4以外) (試験・府大)
7月	大阪 (11会場 うち化学2・給油4) 堺 (3会場 うち給油1) 泉大津 (1会場) 貝塚 (1会場) 岸和田 (1会場:給油所関係)		
9月	大阪 (2会場:タンクローリー関係) 豊中 (1会場) 和泉 (1会場) 柏原 (1会場)	甲種 大阪 (1会場) 乙4 大阪 (3会場) 堺 (1会場) 泉佐野 (1会場) 高槻 (1会場) 枚方 (1会場) 土曜・大阪 (1会場) 日曜・大阪 (1会場)	9月13日 9月14日 (願書受付)



AMATO ROTEC
セーフティ & アメニティ

かんじる しらせる けす
感知・通報・消火
・アムロ...



防火設備は、さまざまな防災機器やシステムによる安全の構築です。
 総合防災メーカー・アマトロテックは、感じも知らぬ消す、アムロ...を、安全確保のベースとして、目的に沿った防災機器の研究・開発をおこなって、アムロ...の完成させています。
 防災による保護環境づくりの、アムロ...は、アムロ...の使命です。

アマトロテック株式会社
 本社 〒537 大阪市東成区深江北2-1-10 TEL.(06)976-0701代

東京本社 〒108 東京都港区白金台5-17-2 TEL.(03)3446-7151代

岡山県岡山市北区 福岡県福岡市 愛知県豊田市 岐阜県岐阜市 名古屋市

平成 7 年度 危険物取扱者保安講習、予備講習 年間予定表 (10月～2月)

	保 安 講 習	予 備 講 習	試験日・願書受付
10月	堺 (2会場:タンクローリー関係) 高槻 (2会場) 茨木 (2会場 うち給油1) 枚方 (2会場) 門真 (1会場) 大東 (1会場) 八尾 (1会場)	丙種 大阪 (1会場)	10月10日 (試験・近大)
11月	大阪 (2会場) 吹田 (1会場)	乙4 大阪 (2会場) 堺 (1会場) 茨木 (1会場) 柏原 (1会場) 土曜・大阪 (1会場) 日曜・大阪 (1会場) 丙種 大阪 (1会場)	11月16日 11月17日 (願書受付)
12月	大阪 (2会場)		12月10日 (試験・府大)
1月		甲種 大阪 (1会場) 乙4 大阪 (2会場) 堺 (1会場) 日曜・大阪 (1会場)	1月18日 1月19日 (願書受付)
2月	大阪 (4会場 うち化学1) 堺 (1会場) 茨木 (1会場) 東大阪 (1会場)	乙4 吹田 (1会場)	2月11日 (試験・府大)

普通消防ポンプ車

MX-1

乗降性、操作性を高めた新世代PUMPER

- MX-1専用キャブ、ハイルーフ高ワイドフロント ●オートマチックトランスミッション
- フルパワーP.T.O. ●デジタル表示式集中コントロールパネル
- 動力式ホースレイヤー ●吸盤、各種放水器具、資機材をコンパクトに収納

MORITA
森田ポンプ株式会社

本社/〒544 大阪市生野区小阪東5丁目5番20号
TEL(06)756-0110 FAX(06)754-3451
東京・大阪・仙台・名古屋・福岡・富山・松山



危険物取扱者予備講習のご案内

平成7年度第1回危険物取扱者試験実施に際し、受験者の予備知識向上のため、次のとおり受験予備講習会を開催いたします。

1. 日時・会場

種別	講習日	時間	会場
甲種	5月16日(火)、5月17日(水)、5月19日(金)	9時30分～16時	大阪府商工会館 (地下鉄本町駅ヨリスグ)
乙種 4類	1期	5月15日(月)、5月18日(木)	9時30分～16時 大阪府商工会館
	2期	5月22日(月)、5月23日(火)	9時30分～16時 大阪府商工会館
	3期	5月24日(水)、5月25日(木)	9時30分～16時 大阪府商工会館
	4期	5月15日(月)、5月16日(火)	10時～16時30分 堺市民会館 (南海高野線堺東駅ヨリ8分)
	5期	5月23日(火)、5月24日(水)	10時～16時30分 泉大津市民会館 (南海本線泉大津駅ヨリ約10分)
	6期	5月24日(水)、5月25日(木)	9時30分～16時 茨木市商工会議所 (茨木駅ヨリ約13分)
	7期	5月29日(月)、5月30日(火)	10時～16時30分 守口門真商工会館 (京阪門真市駅ヨリ8分)
	土曜コース	5月20日(土)、5月27日(土)	9時10分～16時 大阪府商工会館
日曜	5月14日(日)、5月21日(日)、5月28日(日)	10時～16時30分 大阪科学技術センター (地下鉄四ツ橋線本町駅ヨリ約5分)	
丙種	5月30日(火)	9時～16時	大阪府商工会館

2. 受付場所と受付日時

- ①四ツ橋ビル以外は、本会より各所に係員が出張して受付しますので、時間内をお願いします。
- ②各受付場所とも、各講習会場の受付数を割り当てしていますので、満席の節は受付できませんからご了承下さい。
- ③申込手続きは代理でも結構です。

受付場所	日時
東大阪市西消防署内 (近鉄・小坂駅より北へ6分) 東大阪市西防火協力会	5月8日(月) 午前10:00～11:30
守口消防署 (地下鉄・守口駅前) 守口消防署	5月8日(月) 午後1:30～4:00
豊中市消防本部内 (阪急宝塚線・豊中駅より南へ5分) 豊中防火安全協会	5月9日(火) 午前10:00～11:30
茨木市消防本部内 茨木市災害予防協会	5月9日(火) 午後1:30～4:00
岸和田市消防本部内 岸和田市火災予防協会	5月10日(水) 午前10:00～11:30
泉大津市消防本部内 泉大津市火災予防協会	5月10日(水) 午後1:30～4:00
四ツ橋ビル8階 (地下鉄・四ツ橋駅北出口2号) (財)大阪府危険物安全協会	5月11日(木) 午前10:00～午後4:00 5月12日(金) 午前10:00～11:30
堺市高石市消防本部内(南海・湊駅北へ6分・大浜南町) 堺市高石市防災協会連合会	5月12日(金) 午後1:30～4:00

3. 土曜・日曜コースの申込方法

土曜コース(定員140名)、日曜コース(定員130名)は電話(06-531-9717)で予約受付、定員に達し次第締切。

4. 会費 会費には、各テキスト代を含みます。(テキストは平成7年度用改訂版を使用)

種別	会費	会員外
甲種	16,000円	18,000円
乙種4類	11,000円	13,000円
乙種(土曜コース)	12,000円	14,000円
乙種(日曜コース)	16,000円	18,000円
丙種	5,000円	6,000円